

高松市香南歴史民俗郷土館 共催展

主催：城山顕彰会

第19回

じょうざん

# 城山まつり

観覧無料

会期

令和6年

4月13日[土]

～5月19日[日]

場所

高松市香南歴史民俗郷土館

香川県高松市香南町由佐253番地1

なかやま じょうざん

じゅうがくしゃ

中山城山は、江戸時代後期の儒学者。

ほうれき

かがわぐんよこいむら

宝暦13年（1763）香川郡横井村

[現：高松市香南町横井]の生まれで、

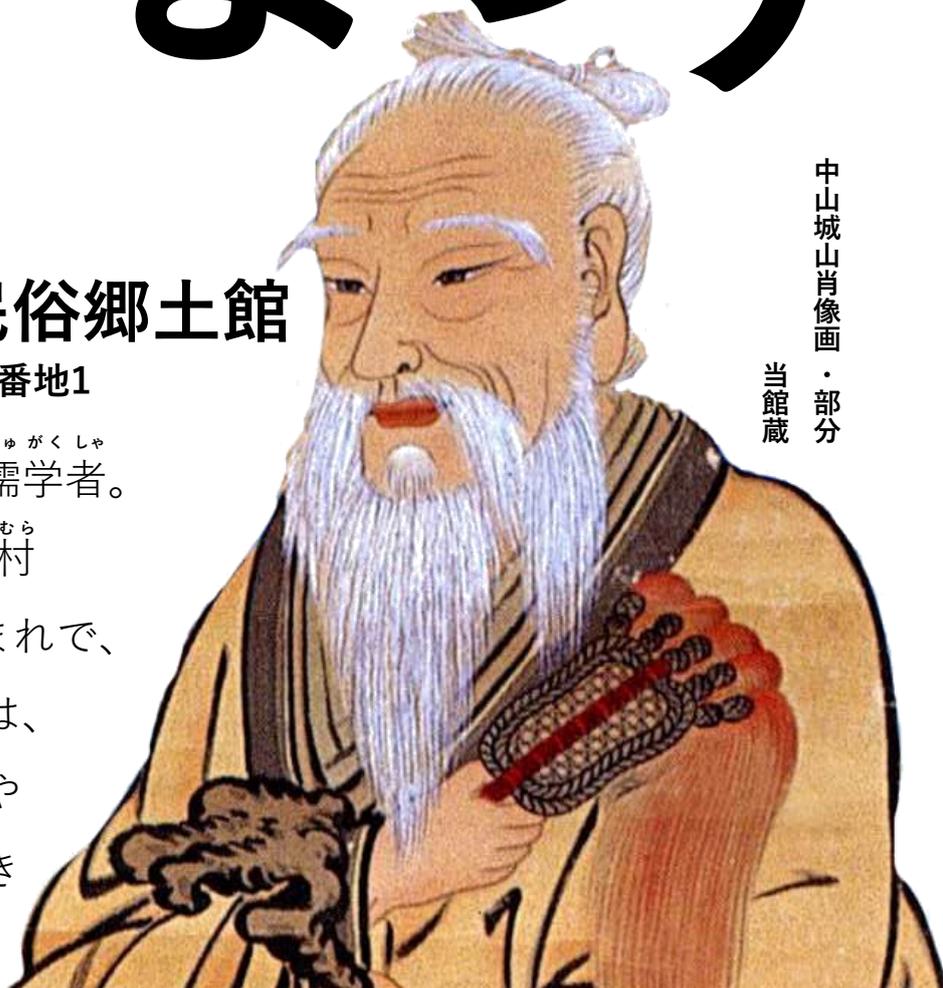
讃岐で活躍しました。晩年には、

讃岐全土を歩き、讃岐の歴史や

旧跡を調べた『全讃史』を書き

あげました。郷土史研究に

欠かせない貴重な資料を残した人物です。



中山城山肖像画・部分

当館蔵

関連講演会「神全塾（しんぜんじゅく）武田家と中山城山」

日時：令和6年4月27日（土）

午後1時30分～2時30分

講師：村井道明氏（徳島県在住）

場所：香南歴史民俗郷土館 2階 第1研修室

定員：25名（要申込） 参加費：無料

申込み先：高松市香南歴史民俗郷土館（電話：087-879-0717）

香川県と徳島県にまたがる  
城山に関する貴重な資料を  
紹介します

医者なかやまじょうざんの家に生まれた中山城山じゆがくしゃ。祖父から儒学者になるよう願われ、三谷村みたにむら（現：高松市三谷町）の藤川東園ふじかわとうえんに学び、荻生徂徠おぎゅうそらいの「古文辞学」こぶんじがくを自らの道としました。高松城下に塾もんていを開いて古文辞学を教え、その門弟は四国をはじめ、中国、九州などから集まり、600人を超えるほどでした。しかし、時代は寛政かんせい。高松藩では「朱子学」しゆしがくが中心であり、古文辞学派の城山はいせきは排斥されました。それでも自分の道を曲げなかった城山。

60歳で、讃岐全土をくまなく歩いて名所・旧所を調査し、讃岐の歴史や風土を明らかにした『全讃史』ぜんざんしを書きあげました。城山はこの『全讃史』を高松藩に献上し、藩主松平頼恕まつだいらよりひろにより士分しぶんの待遇が与えられました。

4月23日の城山の命日にあわせて開催するこの共催展では、城山直筆の書軸や城山の門弟などゆかりの人物の書軸など、高松市香南歴史民俗郷土館所蔵等の城山関係資料を展示します。

また、香南小学校・中学校、児童・生徒による城山の絵や書道作品も展示します。



## 高松市香南歴史民俗郷土館

〒761-1402 香川県高松市香南町由佐253番地1

開館時間：午前9時～午後5時

（入館は午後4時30分まで）

休館日：月曜日（月曜日が祝休日の場合は翌平日）

電話：087-879-0717

